



且ツ支那ハカタテ琉球ヲ攻取セルニ非ラス  
 ニ非ラスシテ支那ノ威權頗フル琉球ニ及ハリ  
 棄テタルヲ云フ然レ其主權一時ハ空名ノミ  
 得サルヲ待タスシテ支持スヘカラサル地位ヲ  
 本ト商議中嘗テ其主權ヲ主張セス敗北止ララ  
 支那ニテ琉球諸島ヲ其所屬ト唱ヘタリシカ日



一月七日、ハレルド抄譯  
 支那日本ノ事件靜定セシ時一異事アレ  
 今ニ至ルマテ之ヲ説ク者無シ即チ是ナリ

125  
 A 125  
 1

萬生号

五葉

大  
 限  
 正  
 十  
 一  
 年  
 四  
 月  
 贈

203

202



紀元六百年代支那琉球ト戦テ勝ヲ得タルハ  
實ニ史乘ニ存スレド支那ノ琉球ノ其版圖ニ入  
レトセシハ蓋シ一千二百年代忍必烈ノ時ヲ  
以テ始トス此時兵ヲ出シ琉球ヲ攻メタレド十  
分ノ功ヲ成サスシテ琉球ハ名實共ニ獨立國ナ  
リシカ一千三百七十二年明朝ノ初代ホンウノ  
使節始テ琉球王ニ説キ支那ノ主權ヲ認メ其併  
護ヲ受ケシメタリ蓋シ此時支那ノ道民ヲ移シ  
琉球ヲ支那ノ屬國ト布告セリ夫ヨリ輓近ニ至  
ルニテハ琉球人自カラ支那ノ屬國トシテ許

シテ節ノ往來絶エス琉球王ハ支那使節ノ手  
ヲ封冊ヲ受ケサレハ即位ノ禮ヲ行フヲ能ハ  
之ニ加フルニ國政ハ一々支那ト商議シ支那要  
府ノ怨恨ヲ恐ル、ト甚タシク外國交易ヲ差  
、ルモ支那政府ノ命ナリ數年前マテハ此ノ如  
キ形況ナリシカ御門再ニ國權ヲ握ルニ至リ琉  
球ノ島津家ニ附屬セル故ヲ以テ之ヲ日本ノ領  
地ト唱ヘ琉球ヨリ三年毎ニ使節ヲ支那ニ遣ル  
ヲ忌ミ琉球ヨリ最後ノ使節ヲ遣ルニ時在支  
那日本官吏其使節ノ首長ヲ問フ其所行ヲ本國

ニ報知スルノ命ヲ父ケ使節遣  
至リシ時支那官吏ト日本官吏ノ  
シトタル勢ナリシハ使節ハ猶北行ニシヤ或ハ  
其地ヨリ國ニ歸リシヤ余輩之ヲ知ラス近頃日  
本船クルリユ一ノ号ノ琉球ニ赴キタルヲ以テ徵  
スレハ日本ハ琉球ヲ管轄スル權ヲ全ク掌握シ  
後來琉球ヨリ使節ヲ遣リテ支那ト交通スルヲ  
禁スルナリシト云キニ日本ノ所行ト支那ニテ之  
ヲ許ルシ殘害ニ遺タル人民ハ日本ノ保護  
ヲ受ケラヌシテ支那ノ保護ヲ受ケルモノナ

クハサレシトヲ以テ北京ノ事情一変シタ  
ラ證ス思フニ数十年前ナラハ支那ニテ多ク  
説ヲ唱ヘテ日本ノ言ヲ拒ミ若シ五十年前ナ  
ラハ此説ヲ唱フルノ理アリシト疑無シ支那政  
府ハ空名ヲ棄ルヲ惜ムト甚クシト雖モ之ヲ拒  
ムテ更ニ大イナル恥辱ヲ避クルトヲ知リシハ  
恐ラクハ好兆ナラン  
右北支那ヘラントヨリ抄出

一月七日「ガゼット」抄譯

サンフランシスコヨリ 告

サントウチ 諸島ノ王ハ本月 土曜日  
ワシントン府ニ赴クニ為リ此地 矣シ我官吏  
人民ヨリ懇切ノ待遇ヲ受ケタルヲ喜フ旨ヲ述  
ヘワシントン府ニ赴ク旅中ハ大イニ其心ヲ慰  
メタリサントウチ王ノ來訪ニ因テサンボウ  
チトサンフランシスコノ交易一層繁盛ノ増  
ス可シワシントン府ニテハ現今迎接ノ預備中  
ナリ思フニ王ハ公會開院ノ頃恰モ府ニ着

領ヨリ公會ニ出シタル文書ニ支那移民  
事ヲ説キ大統領ニ此事ニ付テ早ク法ヲ立  
可トスル旨ヲ述ヘ擔夫及ヒ賣淫ノ業トスル支  
那婦人ノ輸入ヲ防クノ處置ヲ助ケテ嚴ニ之  
施行スヘシト言ヘリ

大統領ヨリ公會ニ出シタル文書ノ畧

廣ク日本國ヲ開キ商賣旅行ノ束縛ヲ除カン為  
メ日本政府ト條約諸國トノ商議速カニ成功セ  
ハ諸方ノ利益タルヲ疑無シ  
一千八百六十四年十一月二十二日ノ會議

ニテ定メタル償金ノ残餘ヲ  
シムルヲ免ルスノ策ヲ迷テ公金  
タレモ公會ハ何等ノ處置ニモ並サバリシヲ以  
テ余ハ此會議ニ依リ定メタル義務ヲ効カアリ  
ト首做サバレルヲ得ス且ツ之ニ干渉シタル諸國  
皆殘金ヲ受取リタルヲ以テ在日本合衆國公使  
我政府ニ代テ亦下ノ関償金ノ殘餘ヲ受取リ  
余ハ縱令ヒ此本録ノ全額ノ利子ヲ用ヒサ  
一部ノ利子ヲ用テ少年ニ日本語ヲ教ヘ他

七本公使館領事館ニ於テ年期ヲ限リ通辨  
トナリ政府ニ服事セシムルノ適當ナルヲ賞  
公會夫レシヲ議セヨ兼テ日本ノ少年教人ニ我  
國語ヲ教ヘ、兩政府相互ノ利益タル可シ  
我國ノ人民ヲシテ日本語ニ通シ公使館領事館  
ノ通辨官若クハ他ノ職掌ヲ奉スルニ足ラシム  
ルノ重要ナルハ勝算ス可カラス  
電報 倫敦 十二月一日 魯西瓦市不豫ノ新  
聞ヲ得タリ蓋シ癸狂セリト云  
巴里 十二月九日 合衆國

シボルン

チラ<sup>ル</sup>ラ<sup>フ</sup>エツ<sup>ト</sup>ノ孫<sup>ニ</sup>セ<sup>ル</sup>ル<sup>フ</sup>シ<sup>ン</sup>ト<sup>ン</sup>  
ノ所持セシ時儀ヲ贈レリ此時<sup>ル</sup>曾<sup>テ</sup>ラ<sup>フ</sup>エ  
ツト<sup>ニ</sup>贈<sup>リ</sup>後<sup>ニ</sup>紛<sup>失</sup>シ<sup>タ</sup>リ<sup>シ</sup>ガ<sup>キ</sup>現<sup>合</sup>衆<sup>國</sup>  
於<sup>テ</sup>再<sup>々</sup>見<sup>出</sup>シ<sup>タ</sup>リ